

地域と医療で咲くコミュニケーション

あまが咲

2015.3.

No. 10

県立尼崎総合医療センター(仮称)

だより

[各科紹介]

小児救命救急センター 災害医療派遣チーム 麻酔科 (DMAT)

新病院に向けてリレーメッセージ

リハビリテーション科

主任理学療法士/課長補佐から

ニュース

ミャンマーでの医療ボランティアに参加しました。



日本赤十字社の前身である
博愛社の発祥地、桜井神社(尼崎市)



兵庫県立尼崎病院



兵庫県立塚口病院





日本では成し得ない貴重な体験

県立尼崎病院 形成外科 梅原 康次

ミャンマーがどこにあるか、ご存じでしょうか？

アジア最後のフロンティアと言われ、急速に発展しつつある国ですが、医療環境の整備が遅れているために、高度医療はごくひと握りの富裕層しか受けることができません。

内陸部のワチエ村に活動拠点を置くNPO法人ジャパンハートの手術ボランティアに、昨年9月、形成外科医として参加しました。

そこで診た患者は、予想以上にQOL(生活の質)・ADL(日常生活動作)が低く、やけどの後遺症で手や腕、足がひきつれて関節が動かない女性、あごと胸がくっついて前を向けない男児、股がくっついて歩けない青年、先天奇形で指が8本ある子供など、日本では見かけない患者ばかりでした。

医療材料はすべて寄付でまかなわれているため、紙1片、ガーゼ1枚、ナイロン糸1cmたりとも無駄にできません。滅菌水も貴重です。限られた材料の中から、何をどう使い、いかに治すかを考える。日本では成し得ない貴重な体験でした。

医療を必要としている人は、まだまだいます。これからも沢山の友を巻き込んで、支援を続けていこうと思います。



編集後記

厳しい冬を越え、やっと春を意識する出来事が増えてきました。ひと雨ごとに気温が変わったり、ニュースでは「花粉の飛散が…」などが聞かれ、温くなる事がとても待ち遠しいです。春が来て夏になれば、とうとう新病院への移転が目前となります。私たち職員にとっても大きな出来事であり、不安と期待でいっぱいですが、職員一丸となって乗り越えていきたいと思っています。

私は尼崎病院に努めて1★年が経とうとしていますが、多くの同期が病院の現場に残って頑張っています。これからも支え合いながら、地域住民の方々により一層良質な温かい医療・看護が提供できるよう頑張っていこうと思っています。たまには息抜きしながら…♪ (編集部 O)



兵庫県立尼崎病院

〒660-0828 兵庫県尼崎市東大物町1丁目1番1号
TEL 06-6482-1521(代表) FAX 06-6482-7430
<http://www.amahosp.amagasaki.hyogo.jp/>

兵庫県立尼崎病院

検索



兵庫県立塚口病院

〒661-0012 兵庫県尼崎市南塚口町6丁目8番17号
TEL 06-6429-5321(代表) FAX 06-6422-7405
<http://www.tsukaguchi-hospital.net/index.html>

兵庫県立塚口病院

検索